

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35206	韓国の文化と社会 Korean culture and Society	朴 成柱			2	選択	1・2後期
科目の概要							
①韓国（朝鮮）という異文化に関する専門的知識を修得することを目的とする。 ②現代の韓国社会の様相および韓国人の心理・価値観について広い視野と柔軟な思考を身につける。 ③日本と朝鮮半島との複雑な関係について多角的な視野から理解を深める。 ④授業では、両国の文化・社会比較を内容に、グループ・ワークでやってもらう予定である。日韓の相違そのものにとどまらず、当該相違が生じた背景について社会学、歴史学、社会心理学など様々な観点による一般的知識や常識、根拠に基づいた論理について解説・議論することを目指す。							
学修内容				到達目標			
① ドラマなどの映像資料を通して、韓国人の言語表現の特徴や韓国社会の問題点などを学ぶ。 ② 在日朝鮮人の来住の歴史や戦後日本社会における差別の問題を学び、愛知県内の朝鮮学校の卒業生を迎えてグループ・ディカッションを行う。 ③ 在日朝鮮人をめぐるテーマを設定し、グループに分かれて学習し、その成果を発表する。その過程で、グループ作業の進め方や分かりやすい発表の仕方を学ぶ。 ④ 様々なテーマについて自分の考えを他者が理解できるようにプレゼンテーションできる力を身につける過程を通じて自己研鑽に励む。				① 日本と韓国（朝鮮）の文化の違いについて理解を深める。 ② 日本と韓国（朝鮮）との歴史的な結びつきの強さについて理解を深める。 ③ 在日朝鮮人や朝鮮学校について理解を深め、戦後の日本社会のあり方を再考する。 ④ 日本における在日朝鮮人への差別を直視することで、普遍的な差別の構造とそれに対処する方法を学ぶ。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ア．基本的な韓国（朝鮮）の文化と生活について、授業で紹介した知識以外にも、自分の興味関心に沿って、自己学修をすることができる。 イ．授業で取り上げられたトピックについて感じた疑問及びご自分の考えを教師やクラスメイトに投げかけることができる。					
	働きかけ力	ア．グループワーク内で、共通の目的達成に向けて、他者に声掛けすることができる。					
	実行力	ア．自らの達成目標を意識しながら、授業を聞き、自己学修を進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	ア．リソースから得た情報を客観的に整理し、真偽を見極めることができる。 イ．情報や他者の意見と自分の意見を照合し、共通点と相違点を整理することができる。					
	計画力	ア．授業に参加する前に事前学習を行うことによってより積極的に授業に参加することができる					
	創造力	ア．固定観念やステレオタイプにとらわれることなく、多角的な視点で物事考えることができる。 イ．自分で考えたことをもとに、よりよい解決策を生み出すことができる。					
チームで働く力	発信力	ア．グループ内で意見をまとめ、聞き手にわかりやすい伝え方考え、工夫して発表することができる。 イ．他者に伝わりやすい発表とは何かを考え、実行できる。					
	傾聴力	ア．グループワークで、他者の意見をしっかりと傾聴することができる。					
	柔軟性	ア．グループワークで、自分と異なる他者の意見や価値観に対して、尊重して共感を持って応対することができる					
	状況把握力	ア．グループワークで、発言を促したり、議論の流れを変えたり、内容を深める質問をしたり、全体の意見をまとめたりする役割を果たすことができる。					
	規律性	ア．遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	ア．グループワークで、他人との話し合いを通じて協力しながら、グループ課題を解決していく中でストレスコントロール力を身につける。					
テキスト及び参考文献							
・テキスト：オリジナルテキスト ・参考文献 1) 浅羽祐樹・木村幹・佐藤大介（2012）『徹底検証 韓国論の通説・俗説』中公新書ラクレ 2) 朴三石（2012）『知っていますか、朝鮮学校』岩波ブックレット 3) 徐京植（2012）『在日朝鮮人ってどんなひと?』平凡社 4) 安田浩一（2012）『ネットと愛国 在特会の「闇」を追いかけて』講談社 5) 野間易通（2013）『「在日特権」の虚構-ネット空間が生み出したヘイト・スピーチ』河出書房新社							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
K-popやドラマだけでなく、日本と朝鮮半島との深い関係を広い視野から考えてみましょう。インターネットを検索すると、韓国や朝鮮民主主義人民共和国、在日朝鮮人に対する反感や敵対感情をあからさまに表現するサイトを目にします。皆さんは、そのような「分かりやすい」解答に満足することなく、問題をじっくりと自分の頭で考えることが必要です。隣国や私たちのすぐ近くに暮らす「コリアンな人たち」との出会いには、きっと皆さんの視野を広げてくれることでしょう。この列島と半島を含む東アジアの過去と現在、そして未来と一緒に考えていきましょう。				・授業中、内容と関係のない携帯電話の使用は厳禁。 ・本授業は期末試験を行いません。授業で課するグループワークと出席で単位をもらうことができます。自発的で積極的な参加が望ましいです。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	30	①				後半の授業内容（在日コリアン、朝鮮学校、ヘイトスピーチ）について、2000 字程度のレポートを提出する（30点）。 評価基準 ・レポートとしての形式を守っているかどうか。 ・授業で扱った基本的な知識の確認。 ・自分の視点を持ち、意見、感想、根拠のある建設的な批判等。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	10	①	✓			・授業中に取り上げられてテーマについて、自分の観点から解釈し、自分の意見を自分の言葉でまとめて提出する。
				②	✓			
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓			グループワークを行う際には、グループごと、話し合いの内容をまとめて全体共有する時間を設ける。以下の点を評価にあたって重視する。（10回×5点＝50点、ただし発表回数は、受講人数次第で変更することもある） ・授業で説明するプレゼンテーションのマニュアルに沿って発表してもらうこと ・オーディエンスにわかりやすい発表の仕方を工夫できること ・基本的な知識を踏まえて、独自の考えを説明できること ・他のグループの発表を傾聴し、疑問などを見つけ、積極的に質問をすることができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			【主体性】自ら知識を深める姿勢・行動が見られる。授業内外の学修に積極的に取り組むことができる。 【働きかけ力】グループワークの中で、共同の目標達成に向けて、他者に声掛けすることができる。 【実行力】目標を設定し、その達成に努力することができる。 【課題発見力】韓国文化、韓国社会などに対して、自分なりの疑問点を持ち、疑問に対し意欲的に解決しようと努力することができる。 【創造力】課題に対して、自分なりの視点から考え、意見が述べられる。 【発信力】聞き手にわかりやすく、自ら考え工夫して発表ができる。 【傾聴力】話し手の意見に対し共感を持って傾聴し、理解を深めるための質疑ができる。 【柔軟性】ディベートする中で、自分と異なる他者の意見や価値観に、柔軟に対応することができる。 【情報把握力】テーマについて、多様な意見を聞き、全体の意見をまとめる役割を果たすことができる。 【ストレスコントロール力】他人とコミュニケーションを積極的に取り組みストレス軽減法を身に付ける。 【規律性】遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を出し、フォローレポート課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動								
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)：右記★の項目について90%以上であり、韓国（朝鮮）に関するテーマについて明確に説明でき、且つ論理的に議論できる。 A(優)：右記★の項目について89～80%以上であり、韓国（朝鮮）に関するテーマについて明確に説明ができる。 B(良)：右記★の項目について70～79%以上であり、韓国（朝鮮）に関するテーマについてある程度説明ができる。 C(可)：右記★の項目について60～69%以上であり、韓国（朝鮮）に関するテーマについて少々説明ができる。	★グループワークにおける自発的参加 ★プレゼンテーション及び質疑などへの参加度 ★フィードバックペーパー、レポート ★社会人基礎力（学習態度）の達成度 ≪上記79～70%はB、69～60%はC≫

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の概要について 授業の進め方や取り組み方 グループ分け	講義 ディスカッション 学生の質問に対する答えをクラスルームで フィードバックする。	朝鮮半島についての基本的な情報（人口・地理・文化など）を理解できる。	（復習）配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	主体性 実行力 発信力 規律性
2	日本人と韓国人、どこが違うの？：言語表現や身体技法の違いから	講義 学生の質問に対する答えをクラスルームで フィードバックする。	該当韓国社会論について理解できる。	（予習）韓流が日本社会に与えた影響について調べてくること。 （復習）配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	主体性 実行力 発信力 規律性
3	韓流と日本社会：ヨン様の衝撃、K-pop アイドル、フェミニズム小説	講義 学生の質問に対する答えをクラスルームで フィードバックする。	該当韓国社会論について理解できる。	（予習）次回の授業までに、金成玖『K-POP 新感覚のメディア』を読むこと。 発表者は、発表に向けて十分に準備を行い、相手に伝わりやすい工夫を考えた上で、リハーサルを実施すること。 （復習）配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
4	資料読解：金成玖『K-POP 新感覚のメディア』岩波新書	講義 発表 学生の質問に対する答えをクラスルームで フィードバックする。	該当韓国社会論について理解できる。	（予習）日韓の文化的な違いについて整理しておくこと。 （復習）配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	韓国の恋愛事情：日韓カップルが語る動画から	講義 ディスカッション 学生の質問に対する答えをクラスルームで フィードバックする。	前週までに学んだ内容を理解し、そこから生じた疑問点を整理して考察すること。 積極的にディスカッションに参加することができる。	（予習）今週までに抱いた疑問点を整理して、まとめておくこと。 （復習）配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 ストレスコントロール力
6	韓国の受験戦争：受験生の1日、試験当日の様子	講義 学生の質問に対する答えをクラスルームで フィードバックする。	該当韓国社会論について理解できる。	（予習）在日朝鮮人についての新聞記事などを保存し、疑問点などを整理しておく。 （復習）配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
7	在日朝鮮人と戦後日本社会	講義 学生の質問に対する答えをクラスルームで フィードバックする。	在日朝鮮人についての理解を深め、戦後の日本社会のあり方を再考することができる。	（予習）在日朝鮮人の歴史についての新聞記事などを保存し、疑問点などを整理しておく。 （復習）配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
8	映画「パッチギ」と主題歌「イムジン河」について	講義 学生の質問に対する答えをクラスルームで フィードバックする。	日本の映画で在日朝鮮人がどのように表象されているかを考察することができる。	（予習）戦後日本社会についての新聞記事などを保存し、疑問点などを整理しておく。 （復習）配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	オンデマンド	ネット上で授業内容を見れるようにオンデマンド式の授業で行う。学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	これまで学んだ内容について理解し、整理することができる。	(予習) 朝鮮学校についての新聞記事などを保存し、疑問点などを整理しておく。 (復習) 配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
10	朝鮮学校の歴史と現在：授業料「無償化」排除問題	講義 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	前週までに学んだ内容を理解し、そこから生じた疑問点を整理して考察すること。	(予習) 戦後日本社会についての新聞記事などを保存し、疑問点などを整理しておく。 (復習) 配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
11	ゲストを迎えて：朝鮮学校の卒業生のお話を聞く	講義 ディスカッション 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	在日朝鮮人の置かれた状況やその歴史的背景について理解することができる。他者の話をよく聞く力を養うことができる。	(予習) ヘイトスピーチについての新聞記事などを保存し、疑問点などを整理しておく。 (復習) 配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
12	ヘイトスピーチとその背景	講義 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	ヘイトスピーチを社会問題として理解することができる。	(予習) 今までの授業内容を整理しておくこと。 (復習) 配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
13	後半のまとめ	講義 グループワーク 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	自分なりの視点を持ち、発表に向けてテーマを選び、テーマについての考察を進めることができる。	(予習) グループ発表に向けて、学んだ内容をしっかり理解し、まとめておくこと。 (復習) 配布した講義資料を見直し、ポイントをまとめる。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
14	発表準備	グループワーク 今期学んだ内容を理解し、そこから生まれた疑問点を自律的にまとめることができる。 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	これまで学んだ内容を理解し、考察を進めることができる。	(予習) これまで学んだことを整理し、興味があるテーマやその周辺情報についてまとめておく。 (復習) 成果をまとめ、発表の準備を整える。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力
15	調べたことを発表する	グループワーク 発表・質疑応答 学生の質問に対する答えをクラスルームでフィードバックする。	これまで学んだ内容について理解できる。	(復習) 発表で得たこと、学んだことをまとめる。今後の課題を発見する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力